

# 肥前名護屋城図屏風

～名護屋城の全貌を伝える唯一の史料～

## ■肥前名護屋城図屏風（ひぜんなごやしゅうすびょうぶ）

豊臣秀吉によって起こされた文禄・慶長の役（1592～1598）において、その出発拠点となった東松浦半島一帯の、当時の様子を描いた淡彩の図である。

描かれている景観は、主に沖の加部島天童岳からみた構図で、名護屋城を中心として、周辺に所在する多くの大名の陣屋、商人などの町家、湾に浮かぶ安宅船、明の使節の行列、それに遊行する南蛮人などの様子を繊細に写し出している。

本図の裏面の一隅に「肥前名護屋〇図板倉」とあることから、亀山城主（三重県）の板倉重常が、元禄元年（1688）に徳川綱吉に献上した屏風（狩野光信筆、金碧極彩色図）の下絵と考えられている。

昭和54年3月31日指定

唐津市鎮西町名護屋（名護屋城博物館）

歴史資料

分野 歴史

地域 鎮西

◎地図・写真・統計資料など



肥前名護屋城図屏風  
佐賀県重要文化財

（『佐賀県の文化財』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『佐賀県の文化財』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)